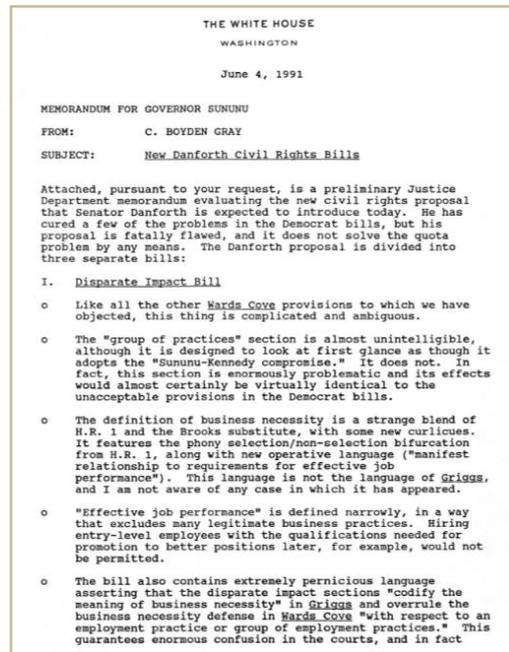
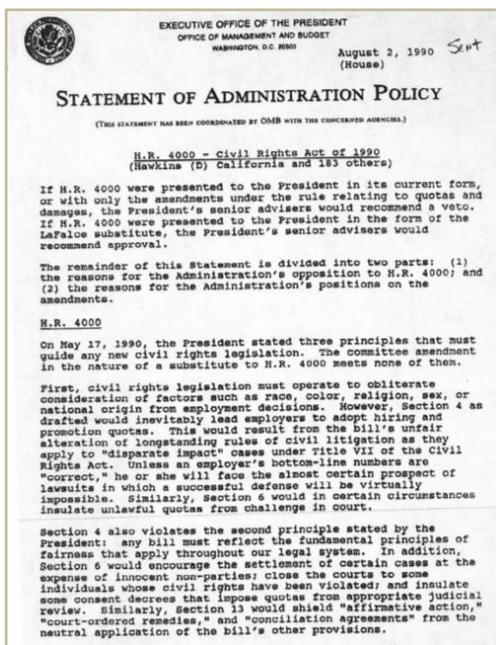
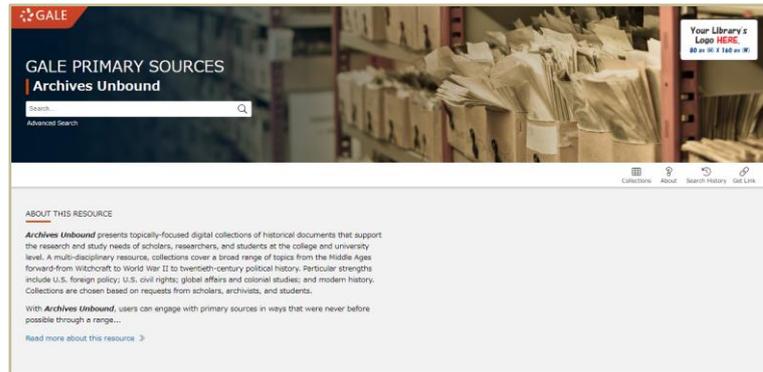


ホワイトハウス記録管理局人権関係主題ファイルとホワイトハウス法律顧問ファイルに見るブッシュ政権の公民権政策と公民権法制

Bush Presidency and Development and Debate Over Civil Rights Policy and Legislation

本データベースは、ブッシュ(父)政権時代の公民権、公民権政策、公民権法制に関する文書を電子化して提供するものです。収録文書は、ホワイトハウス記録管理局(White House Office of Records Management, WHORM)の人権関係主題ファイル(Subject File HU(Human Rights))とアルファベットファイル(Alphabetical Files)、そしてスタッフ並びにオフィスファイル(Staff and Office Files)です。このうち、スタッフ並びにオフィスファイル(Staff and Office Files)が半数以上を占めます。スタッフ並びにオフィスファイル(Staff and Office Files)の多くはホワイトハウスの法律顧問を務めたボイデン・グレイ(C. Boyden Gray)、フレッド・ネルソン(Fred Nelson)、ネルソン・ランド(Nelson Lund)、リー・リーバーマン(Lee Liberman)の文書です。これらの文書は公民権に関する広範囲の問題をカバーしていますが、多くの文書は1990年公民権法(ケネディ・ホーキンス法案)と1991年公民権法に関する文書です。その中には、1990年公民権法と1991年公民権法に関する上院議員と下院議員の機密書簡も含まれています。特に、ジョン・ダンフォース上院議員がホワイトハウス高官と交わした書簡を収録するネルソン・ランド文書は興味深く、1990年公民権法に対する大統領の拒否権行使を回避するためにダンフォース上院議員がテッド・ケネディ上院議員とホワイトハウスの妥協を仲介しようと試みたことが詳しく明かされています。また、「業務上の必要性(business necessity)」に関する条文を巡るケネディ上院議員とホワイトハウスの対立を明らかにするフレッド・ネルソン文書も興味深いものです。リー・リーバーマン文書はブッシュ政権の公民権政策と1990年公民権法に対する反対の姿勢を詳らかにします。ボイデン・グレイ文書はダンフォース上院議員のホワイトハウスとの交渉に関する情報、ブッシュ政権の公民権戦略に関する論評、軍や教育と公民権の関係に関する情報を含みます。収録文書の大半はブッシュ政権の時代(1989-1991)のものですが、副大統領時代(1981-1989)の文書もわずかながら含みます。





◆データベースの概要

◆原資料所蔵機関: George H.W. Bush Presidential Library

◆ページ数: 133,499 ページ

◆年代: 1989-1991 年

◆無料トライアルをご提供しております。

◆商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社、または総代理店(株式会社 極東書店)までお願いします。

◆正式なお見積りは総代理店までお願いします。

◆ホスティング料金はかかりません。